

令和4年度 入札監視委員会議事概要

東北防衛局

開催日及び場所	令和4年6月29日（水）仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長：伊東 満彦（弁護士） 委員：梶川 伸哉（大学教授） 委員：高橋 雄一郎（公認会計士・税理士） 委員：滝澤 紗矢子（大学院教授） 委員：棚橋 則子（大学講師）

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	東北防衛局：令和4年1月1日～令和4年3月31日
審議対象件数	49件

1 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数	5件	（審議概要）												
建設工事	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">一般競争（政府調達協定対象）</td> <td style="width: 30%;">0件</td> </tr> <tr> <td>一般競争（政府調達協定対象外）</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>公募型指名競争</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>指名競争</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>企画競争</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>随意契約</td> <td>1件</td> </tr> </table>		一般競争（政府調達協定対象）	0件	一般競争（政府調達協定対象外）	18件	公募型指名競争	0件	指名競争	0件	企画競争	0件	随意契約	1件
一般競争（政府調達協定対象）	0件													
一般競争（政府調達協定対象外）	18件													
公募型指名競争	0件													
指名競争	0件													
企画競争	0件													
随意契約	1件													
建設コンサルタン業務等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">一般競争（政府調達協定対象外）</td> <td style="width: 30%;">29件</td> </tr> <tr> <td>プロポーザル方式等</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>随意契約</td> <td>1件</td> </tr> </table>	一般競争（政府調達協定対象外）	29件	プロポーザル方式等	0件	随意契約	1件							
一般競争（政府調達協定対象外）	29件													
プロポーザル方式等	0件													
随意契約	1件													

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出案件】 ○建設工事 ◇一般競争契約（政府調達協定対象外） （1）東北町（3）宿舎改修建築その他工事/海自八戸（3）宿舎改修建築その他工事 ・2件とも宿舎の改修建築その他工事 で工期もほぼ同じであるが、落札率が 20%近く差がある。その原因は何か。	・件名は同じ宿舎改修であるが、改修の 工事内容は異なっている。落札率の差が 大きい理由は、東北町の事案が、低入札 価格調査での落札となったことによると 思われる。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・低入札価格調査を実施した東北町の案件では、局の積算と落札者の内訳において価格差が大きかったのはどのような項目か。</p> <p>(2) 大滝根山(3)局舎空調設備改修機械その他工事</p> <p>・当初は入札に参加した2者とも施工体制確認の追加資料提出拒否により無効となり不調となったものであるが再公告に当たりどのような変更をしたのか。</p> <p>・当初の入札は2者であったが、入札額の低かった者が再公告の入札に参加しなかったのは何故か。</p> <p>・工事件名に「その他」とあるが、他工事を別発注としてはどうか。</p> <p>(3) 東北町外(3)設備工事監理業務/東北町外(3)設備工事監理業務(その2)</p> <p>・2件ともそれぞれを落札した者による2者入札であったが、落札率は30%近く差がある。その原因は何か。</p> <p>・両案件とも公告時期及び履行期限等が近く、東北町及び三沢市が履行場所となっているが、履行場所で分けなかったのは何故か。</p> <p>①東北町外(3)ボイラー室改修等機械その他工事(設備工事分) 三沢(3)格納庫改修建築その他工事(設備工事分) 三沢(3)舗装改修等土木その他工事(設備工事分)</p> <p>②東北町(3)宿舎改修建築その他工事(設備工事分) 海自八戸(3)鉄塔新設等建築その他工事(設備工事分) 三沢(3)宿舎改修建築その他工事(設備工事分)</p>	<p>・落札者の内訳は、共通費が約53%と低く、特に一般管理費等が約32%で価格差は、約15,800千円となっていた。落札者に聞き取りしたところ、手持ち工事が少ないこと、当局の施工実績が少ないことなどから、確実な受注を目標に必要な最低限の経費をもって入札したとのことであった。</p> <p>・変更した内容は、格付けを「管A→管B以上」同種工事(企業、技術者)を「建物附帯機械設備工事→機械設備工事」そのほか、工期、専任期間、概算額を見直したものである。</p> <p>・参加しなかった者に聞き取りした結果、「他の工事に技術者の配置が決まり再公告に参加できなかった。」とのことであった。</p> <p>・本工事は、山間部の工事でありその他工事を別発注すると発注ロットが小さく不調不成立のリスクが生じることから適切ではないと考えている。</p> <p>・落札率の低い東北町外(3)設備工事監理業務(その2)の契約相手方は、過去に同様の監理業務を複数回受注し、また、業務内容を理解していることなどから入札価格を抑えたものと考えられる。</p> <p>・予算区分、施設種別で分けている。東北町外(3)設備工事監理業務(その2)は主に宿舎工事を対象としたものであるが、空自宿舎施設費及び海自施設整備費は、予算不足のため、予算が確保されてから発注を進めたものである。</p> <p>①予算区分：空自施設整備費 施設種別：自衛隊施設</p> <p>②予算区分：空自宿舎施設費 海自施設整備費 施設種別：公務員宿舎(空自) 自衛隊施設(海自)</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>(4) 仙台(3)建築工事監理業務/神町(3)建築工事監理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2件とも同じ者が落札したが、落札率は20%以上の差がある。その原因は何か。 ・監理業務を行う工事の入札では多くの入札参加者(6者~23者)がいたが、本件監理業務の入札参加者が3者・1者と少ないのは何故か。 <ul style="list-style-type: none"> ①仙台(3)倉庫新設建築その他工事：入札参加者(23者) 仙台(3)宿舎改修建築その他工事：入札参加者(6者) ②神町(3)倉庫新設等建築その他工事：入札参加者(19者) <p>(5)仙台外(3)設備工事監理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件は仙台及び神町の倉庫新設並びに仙台の宿舎改修に伴う設備監理業務であるが、同じ建物の建築工事の監理業務は上記4のとおり仙台と神町で分けている。本件を仙台と神町に分けなかった理由は何か。 ・分ければ1者入札は防げたのではないか。 <p>仙台(3)倉庫新設電気その他工事 仙台(3)倉庫新設機械工事 仙台(3)宿舎改修建築その他工事(設備工事分) 神町(3)倉庫新設電気その他工事 神町(3)倉庫新設機械工事</p> <p>(総括)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争性の確保に努められており、特に意見はないが、監理業務においては、更なる工夫が必要と感じる。 	<p>・落札者は、2件の受注を目標に入札参加しており、特に神町の監理業務は、巡回監理であり、現に履行中の監理業務の技術者を有効活用することによって効率的な業務遂行が可能と考え、価格を下げて入札したため、落札率に差が生じたと思われる。</p> <p>・工事と監理業務では、入札に参加する企業が異なるので比較することは適切ではない。過去3カ年の実績は、全26件中8件が1者応札、平均入札参加者数は約2.4者と少ない状況が続いており、本業務が特別少ないということではない。</p> <p>・基本は予算区分、施設種別から分けることを考えるが、過去の実績から設備コンサルタントの参加者数は少ない傾向にある。また、神町駐屯地のある山形県所在設備コンサルタントは、更に少ない状況であることから1件にまとめ入札参加意欲の向上を図り競争性の確保に努めたものである。</p> <p>・前述の回答のとおりである。</p>

2 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) ・なし
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・なし	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		・なし	
3 入札結果の事後的・統計的分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		・審議事案に係る過去5年間の実績報告を行った。	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・なし	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		・なし	
4 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件事案なし			

令和4年度 入札監視委員会議事概要

防衛装備庁

開催日及び場所	令和4年6月29日（水）仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長：伊東 満彦（弁護士） 委員：梶川 伸哉（大学教授） 委員：高橋 雄一郎（公認会計士・税理士） 委員：滝澤 紗矢子（大学院教授） 委員：棚橋 則子（大学講師）

I 防衛省発注機関が締結する契約（建設工事を除く）に関する審議

審議対象期間	防衛装備庁下北試験場：令和3年4月1日～令和4年3月31日
審議対象件数	271件

1 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数	5件	（審議概要） ・契約状況の説明 ・抽出案件の概要説明 ・抽出案件の審議	
契約事案	一般競争		92件
	指名競争		0件
	随意契約	179件	

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>○一般競争入札 ◇一般競争契約（政府調達協定対象外） （1）研究施設等の維持管理業務委託外31件 ・一企業の落札件数が多い理由は何か。（契約件数 32件/92件 34.78% 契約金額全体の11.29%）</p> <p>・業務内容の説明は、行っているか。</p> <p>・役務での発注とせず期間職員等とすることは可能か。</p> <p>・応札者数がほぼ1者となっているが公告に示された入札参加条件は競争性が担保されるものとなっているか。</p> <p>○随意契約 （2）灯油 3件 ・契約年月日、納期ともに1ヶ月程度の差であるが、同一契約としない理由は何か。</p>	<p>・本業務等は、射撃訓練等に伴う鉄屑の収集業務であり、業務内容に危険性は、ほとんどないものと認識しているが、入札参加者からの認識は、逆であり、業務内容を熟知している企業が落札したものである。</p> <p>・現地確認も含め行っている。</p> <p>・事例は無いため、判断できない。</p> <p>・公告等の内容は、競争性を担保したものとなっている。</p> <p>・天候悪化により給油不可となった場合に一定期間の運用が可能となる量を維持する必要があることから、冬季間の保管容量が定められており、常時80-90%を維持することとなっている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>(3)鋼材他3品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格作成における見積徴収者数は、適切な者数となっているか。また、見積先の選定理由を説明されたい。 ・ 見積徴収先の応札はあるか。見積を提出した者で応札しない者がいる場合は、その理由は何か。 <p>(4)防風ネット（折り畳み収納式）他1品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格作成における見積徴収者数は、適切な者数となっているか。また、見積先の選定理由を説明されたい。 ・ 見積徴収先の応札はあるか。見積を提出した者で応札しない者がいる場合は、その理由は何か。 ・ 一般競争入札で「防風ネット支柱基礎他7品目」、随意契約で「防風ネット（折り畳み収納式）他1品目」と分けているが1件の契約としない理由は何か。 <p>(5)トナーカートリッジ外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応札者が増加した理由は何か。 ・ 落札率が低下した理由は何か。 <p>(総括)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議した案件については概ね適切に実施していたと思われる。オープンカウンターの導入による応札者の増加、落札率の低下は評価でき、今後も引き続き実施されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の発注における見積徴収者数は、2者となっている。見積先の選定理由は、過去の契約実績や中小企業の受注機会拡大を踏まえたものとした。 ・ 見積徴収先の応札はあるが、参加されない企業もあった。理由は、「繁忙期と重なり対応できない。」とのことであった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の発注における見積徴収者数は、1者となっている。 ・ 見積徴収先の応札はある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前述は、計画的な要求であったため、一般競争入札としたが、後述は、防風ネットの破損による緊急的な発注であることから随意契約とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンカウンターの導入によるものである。令和元年に試行的に導入し、令和2年度に本格運用とした。

2 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0件	(審議概要) なし
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	<p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし

令和4年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊

開催日及び場所	令和4年6月29日（水）仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長：伊東 満彦（弁護士） 委員：梶川 伸哉（大学教授） 委員：高橋 雄一郎（公認会計士・税理士） 委員：滝澤 紗矢子（大学院教授） 委員：棚橋 則子（大学講師）

I 防衛省発注機関が締結する契約（建設工事を除く）に関する審議

審議対象期間	航空自衛隊第三航空団：令和3年4月1日～令和4年3月31日
審議対象件数	4984件

1 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

	抽出件数	5件	（審議概要） ・契約状況の説明 ・抽出案件の概要説明 ・抽出案件の審議
契約 事 案	一般競争	1239件	
	指名競争	0件	
	随意契約	3745件	

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>○一般競争入札 ◇一般競争契約（政府調達協定対象外） （1）プレハブ二重管更新工事（東北町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再公告及び再々公告となった理由・経緯について説明願いたい。 ・再公告及び再々公告を行うに当たり工事内容等を変更したのか。 ・1者入札であるが特殊な工事内容なのか。 ・落札者は、当初工事の設置企業なのか。 ・不調となった際の価格差は何か。 <p>（2）ハイドラントシステム点検等（三沢）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再公告となった理由・経緯について説明願いたい。 ・再公告を行うに当たり役務内容等を変更したのか。 ・1者入札であるが入札者は本システムの製造者・設置者なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格超過による不調となったものである。 ・変更は行っていない。 ・工事内容は、特殊なものの承知している。 ・当初工事の設置企業ではない。 ・価格差は、管の材料費となる。 ・予定価格超過による不調となったものである。 ・変更は行っていない。 ・本システムの製造者・設置者ではない。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>(3) 103斤舎(三沢)から65斤舎(築城)への物品等移動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動した物品等の分量はどのくらいか。 ・日本通運(株)しかできない理由はあるのか。 ・部隊車両を使用し発注は労務費のみとできなかったのか。 ・1者入札及び100%落札となった理由は何か。 <p>(4) ケース2個外254品目(三沢)外18件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年2月22日の入札監視委員会において、「一般的な相当数の品目の消耗品等を一つの契約により購入しているが、ホームセンター的な物品、家電的な物品、ドラッグストア的な物品等に大別して発注にすれば、それぞれ得意な業者から納入できるのではないかと思われることから、購入品目の取り纏めについて検討願いたい。」と総括したが、品目等を整理した上で入札するよう改善したのか。それでも1者入札となっているのか。(令和3年度の公告(11/11、11/16)の内訳書を見ると整理されているようには見えない。また内訳書の規格欄にはメーカーの型番ではなく問屋が発行しているカタログの品番がカタログ名の記載がないまま記載されているものが見受けられる。このようなことは新規業者の参入障壁となるのではないか。) ・1者入札では、以下のとおり落札率が高くなる傾向があると思われるので改善されたい。 <p>(5) 車両の借上げ(三沢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算決算令で定められている随意契約できる額(80万円)の上限を超えた金額で契約しているが、その理由は何か。(内部規則等があるならそれに沿って説明願いたい。) <p>(総括)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年に総括した件が実施されていない状態であった。再度、分割発注の工夫が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公告に示す別表のとおり。 ※ソファー、机、ホワイトボード等の281品目 ・参加できない理由の聞き取りによると「自衛隊関連物品の輸送に係るノウハウがない。」「車両の準備ができない」とのことであった。 ・部隊改編等があり対処できない状態であった。 ・予定価格は、2者から見積を聴取し安価な見積を採用しているが、入札参加者と同じ者であったことから100%となったものである。 ・各種別毎に大別し発注した場合、全省庁統一資格のない企業があるため、実現できず、また、購入品目の取り纏めは、40からの部隊要求があり大別することは困難であること、年度末に要求が集中することなどから改善はできていない。 ・納期までの猶予が短く、結果的に入札が可能な規模の業者、理興産業ばかりが参加している状況と理解しており、納期までの湯よを十分確保するなど改善を行うものと考えている。 ・一般競争が実施できなかったのも、部内委員会の審議を経て実施したものである。

2 談合疑義案件の処理状況について		
談 合 疑 義 件 数	0 件	(審議概要) なし
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	・なし	・なし
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・なし	・なし